



2019年5月8日

各位

会社名 株式会社 島精機製作所  
 代表者名 代表取締役社長 島 三博  
 (コード番号 6222 東証1部)  
 (問合せ先) 取締役執行役員  
 経理財務部長 南 木 隆  
 (TEL 073-471-0511)

## 「中期経営計画」の見直しに関するお知らせ

当社は2018年5月8日に公表しました中期経営計画「Ever Onward 2020」(2021年3月期)の経営目標数値及び株主還元指針に関して、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

## 1. 修正内容

## (1) 経営目標数値の修正 (連結)

	当初計画	修正計画	直近実績
	2020年度	2020年度	2018年度
売上高	1,000億円	650億円	513億円
営業利益	250億円	100億円	46億円
経常利益	250億円	100億円	49億円
親会社株主に帰属する当期純利益	180億円	70億円	38億円
ROE	12%	5.3%	3.1%

## (2) 製品セグメント別売上高の修正 (連結)

	当初計画	修正計画	直近実績
	2020年度	2020年度	2018年度
横編機事業	810億円	500億円	388億円
デザインシステム 関連事業	75億円	60億円	43億円
手袋靴下編機事業	25億円	20億円	15億円
その他事業	90億円	70億円	66億円
合計	1,000億円	650億円	513億円

### (3) 株主還元指針の修正

修正前 連結配当性向 25%を目安とする。

修正後 連結配当性向を 30%以上とする。

## 2. 見直しの理由

本日公表しました 2019 年 3 月期の業績結果及び 2020 年 3 月期の業績予想、並びに直近の事業環境等を踏まえ、経営目標を精査した結果、上記の見直しを行うこととしました。

次世代型の横編機であるホールガーメント横編機の需要は今後も順調に拡大する見込みですが、従来型のコンピュータ横編機は、低価格帯のカジュアルシューズ向けの市場において丸編機や中国製の廉価な横編機との競合が激しくなるなど、当初想定よりも厳しい事業環境に変化しています。また当社の主要販売先となるアパレル・ファッション業界においては、世界的な景気減速懸念が強まるなか、当社ユーザーにおける中期的な設備投資マインドの冷え込みが顕著に表れてきたことを受け、上記見直しに至りました。

なお、当中期経営計画で掲げました基本戦略「差別化戦略の推進と事業領域の拡大」「将来の成長に向けた積極的な投資の強化」については変更ございません。

※ 経営目標数値の修正後の中期経営計画に関する資料につきましては、当社ホームページ (<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/plan/>) をご覧ください。

※ 本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。

以 上